

【1】 担任自己紹介 1組 ^{かすぶち}粕渕 ^{せいじ}成司 2組 ^{きのした}木下 ^{ゆうすけ}優輔

【2】 保護者自己紹介

- ・子どもの長所などを一言添えて
- ・日頃の子育てで感じていること など



【3】 PTA学級理事の紹介

【4】 懇談内容

校訓「大地をふまえ 手をたずさえて 雄々しく立とう 鳥小の子」
〈経営方針〉だれもが「安心」できる学校をめざして

6年生の教育目標と教育方針

6年生の教育目標

- ◎ 命を大切にし、たくましく生きる子
- ◎ よく考え、表現できる子
- ◎ 責任をもって、やり通す子
- ◎ やさしく、思いやりのある子

◎ 命を大切にし、たくましく生きる子

人間にとって一番大切なものは自分の命であり、みんなの命です。命というものが実感しにくく、いろいろな犯罪が増加している現代社会で、あらゆる機会を通して命の大切さを教えていくことが重要な課題と考えます。

本学年の児童は思いやりのある子が多く、男女の仲もとてもよいです。しかし、そんな子どもたちでも、必ずしも命の大切さを本当の意味で理解しているとは言えず、友だち同士の会話の中で無意識のうちに人を傷つける言動をしてしまうことがあります。

またもう一方で、学校生活のいろいろな場面を生かして様々なことに挑戦し、たくましく自分の道を切り開いてほしいです。今後の成長過程で、自分への自信のなさや、目先の損得や都合により、ずるいことをしたり、ごまかしたりすることがあると思います。しかし、いろいろな場面、困難な時にも、自分の心に誠実に正直に向かい合い、強く明るく生きる子であってほしいです。そのためには、決して失敗や過ちを責めるのではなく、共に考え、「正直に向かい、考え、行動する姿勢」を教え育てていくことが大切であると考えます。そうして子どもが自分に誇りをもって生きること、自他の命を大切にできる子にもなっていくと思います。

◎ よく考え、表現できる子

子どもたちは様々な個性をもっていますが、そのなかに周りの状況や一歩先のことをよく考えないで行動する子や、反対に考えすぎてしまって行動できない子がいます。よりよい行動ができるように、いろいろな機会をとらえ、今何が大切か、何のためにするかをよ

く考えさせ、進んで行動できる子にしていきたいです。考えて行動する機会は多くあります。日常生活をはじめ、最高学年としての活躍の場が広がってきています。子どもたちの活動を支援し、評価し、よく考えることのできる子に成長していくよう指導していきたいと思います。

そして、よく考えるとともに、自分を表現できる子になってほしいです。そのために、発表の機会や話し合い活動を豊かにしていきたいと考えています。

◎ 責任をもって、やり通す子

最高学年となり、通学班や委員会、クラブ活動、なかよしタイムなど、いろいろな場面でリーダーシップをとることになります。自ら立候補し、リーダーになった子も多くいます。リーダーにならなくても、清掃活動や当番活動等にこつこつと取り組み、責任を果たすことのできる子も多くいます。

一方で、楽しいことには積極的に取り組めますが、いやでもしなければならないことになると、一歩引いてしまう子もまだいます。また、「だれかがしてくれるだろう」と他人任せの気持ちになり、進んでしようとしないう子がいるのも現状です。子どもとは、興味や関心をもとに活動する存在とも言えますが、それだけで生きていくことはできません。必要なことであれば自分を律し、成し遂げる能力と態度を育てていきたいと思います。

◎ やさしく、思いやりのある子

これまでの成長の過程で、思いやりを十分に身につけている子がいます。おそらく、保護者の方をはじめ、その子にとって思いやりについて学ぶ機会が多くあったのだらうと思います。特に子どもの頃は、周りの人に評価され、認められることによって、その価値を内面化し、人格として形成していくと考えられます。

社会生活を営んでいく上で、人を思いやることのできる姿勢・態度を欠かすことはできません。学校生活におきましては、協力し合う学年・学級生活を意識し、思いやりある行動に対して評価し、認め合う雰囲気を高めていきたいです。なかよしタイムでは、下級生を大切にし、やさしい「お兄さん」「お姉さん」と言われるよう、支援していきたいです。

教育方針・・・子どもたちへの指導・支援

1、基本的生活習慣を育成する。

- ・ 落ち着いた行動・・・廊下歩行、教室での過ごし方、休み時間
- ・ 挨拶や返事、感謝の言葉・・・おはよう、はい、ありがとう、ごめんね、～です、～ます
- ・ 時間を守る・・・チャイムで席に着く
- ・ 整理整頓・・・身のまわり、落とし物、忘れ物
- ・ 学習のルール・・・姿勢、返事、協力

2、明るく楽しい学級を作っていく。

- ・ 一人ひとりの居場所を作る。
- ・ 一人ひとりの良さを見つけ合い、学び合う。
- ・ いじめや差別がなく、支え合っていく。
- ・ 失敗や過ちを許し合い、生かしていく。
- ・ 感謝と許しの気持ちがこもった「ありがとう」「ごめんね」が自然と言えるようにする。
- ・ 楽しみ合い、ふれあえる活動の場を充実する。

3、生きる力を育む。

- ・ 基礎学力の向上と定着に努める。
- ・ 書く能力、発表する能力を高める。
- ・ 課題設定と課題解決の方法を身につけさせていく。
- ・ いろいろなことにチャレンジさせる。
- ・ 課題（仕事）に責任をもって取り組ませる。

4、評価し、評価し合う。

- ・ 良い行いについてほめ、みんなに返していく。
- ・ するい行いについては、厳しく叱る。
- ・ 過ちについては、よく考えさせ、今後に生かしていく。
- ・ 教師からの朱書きなどで日常的に評価していく。
- ・ 自分を評価する機会を定期的に作っていく。
- ・ 子どもどうしが評価し合える機会や方法を作っていく。



以上のことを実践し、だれもが『安心』できる学校をめざす。

学習面での指導

(1) 基礎基本を重視する

昔から教育で求められてきた「読み書き計算」を朝学習・モジュールなどの時間を使って行います。繰り返しの学習や、必要に応じた補習をさせていただきます。しかし、学校の学習時間だけでは、十分な習熟にすることは難しいです。家庭学習で補っていくために、宿題を出していきたいと思います。保護者の方の励ましや言葉かけが小学校時代の子どもたちにとって、大きく作用します。ご協力ください。

(2) 興味関心をもつ

3歳児の頃に発した「なぜ、どうして」の素朴な疑問。高学年は、もう少し筋道を立てながら、広い視野に立って「なぜ、どうして」を発する年頃になります。知識を蓄積させるだけではなく、子どもたちが興味をもつような授業を展開したいです。また、読書を奨励し多くの本にふれさせたいです。

(3) 考える力を高める

社会科では歴史や公民などの学習に取り組みます。理科では植物や動物のからだのはたらきや太陽と月の形などの学習をします。身近な社会や自然に対する知識や認識を身につけさせるために、物事の見方や考え方を豊かにするような授業を展開していきます。これらの学習活動を繰り返し取り組ませることによって、子どもたちの社会的視野が大きく広がるとともに、思考力を身につけさせていきます。

(4) 話を聴く、話す姿勢を定着させる

話し合い活動を通して、学習内容をより深めさせていくためにも、話を聞く姿勢を定着させます。そして、子どもたちが意見を出しやすくするような雰囲気をつくっていきます。「聴く」「話す」をきちんとした態度で行えるように指導します。

【5】学級的目標

- 1組 物語 最後にきざもう 思い出を
- 2組 えがおの365日

【6】生徒指導

- ・ あいさつ・返事がしっかりできる。
- ・ 安全に気をつけて生活することができる。
- ・ 時間を守り、身の回りの整理整頓をすることができる。

【7】お願い

- ・ 卒業式の服装について

卒業式の当日は座っている時間も長く、着慣れない服装の場合、体調を崩してしまうこともあります。袴の着用は避けていただきますようお願いいたします。

【8】学級の様子

【9】家庭での様子

学年に関わる行事

- 4月28日（金）春の遠足（名古屋港水族館）
- 6月中 職場訪問
- 9月30日（土）運動会（10月4日予備日）
- 10月30日（月）修学旅行説明会
- 10月27日（金）社会見学（※予定 リトルワールド）
- 11月16日（木）～17日（金） 修学旅行（京都・奈良）
- 2月 8日（木）～9（金） 作品展
- 3月 2日（金）卒業生を送る会
- 3月20日（火）卒業式

MEMO